

甲状腺検査 甲状腺検査 先行検査の結果

最新の調査結果： <http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/kenkocoyosa-kentoinkai.html> へ

一次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		判定率 (%)	結果判定数 (人)			
		受診率 (%)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))			
					A 1	A 2	B	C
合計	367,685	300,476 (81.7)	9,510	300,476 (100.0)	154,606(51.5)	143,576 (47.8)	2,293(0.8)	1 (0.0)

A判定 99.3%

結節・のう胞の人数・割合

	結果確定数(人)	結果確定数に対する結節・のう胞の人数 (割合(%))			
		のう胞			
		5.1mm以上	5.0mm以下	20.1mm以上	20.0mm以下
合計	300,476	2,275 (0.8)	1,715 (0.6)	12 (0.0)	143,901 (47.9)

B判定 0.8%

※5.0mm以下、20.0mm以下であっても、甲状腺の状態によってはB判定となる場合もある。

平成27年6月30日現在

二次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		確定率 (%)	結果確定数(人)			
		受診率 (%)	判定率 (%)		次回検査		通常診療等	
					A 1	A 2	うち細胞診受診者	
合計	2,294	2,108 (91.9)	2,056 (97.5)	122 (5.9)	578 (28.1)	1,356 (66.0)	537 (39.6)	

【細胞診結果】

悪性・悪性疑い 113人(手術99人:良性結節1人、乳頭がん95人、低分化がん3人)

男性:女性 38人:75人

平均年齢 17.3±2.7歳(8-22歳)、震災当時14.8±2.6歳(6-18歳)

平均腫瘍径 14.2±7.8mm(5.1-45.0mm)

第20回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

1巡目の検査である先行検査の最終結果を示します。

一次検査でA判定は全体の99.3%、B判定は0.8%でした。A2判定の大半は20mm以下ののう胞、B判定の大半は5.1mm以上の結節、ということが分かります。

二次検査では、精緻な超音波検査等を経て、二次検査受診者の33パーセント、つまり3人に1人はA判定相当として、一次検査のA判定者同様、次回22巡目の検査の受診をお勧めしています。一次検査では疑わしいと思われる方については、総合的に客観的に判断するために、念のためB判定として二次検査でより詳しく検査をした上でA判定相当となる方もここには含まれているためです。

二次検査受診者の66%の方は通常の保険診療に移行し、多くは半年後や1年後に受診をいただくようご案内しています。この間隔は、個別にその方の症状に合わせて医師が判断しています。

39.6%の方は穿刺吸引細胞診を受け、その結果113人の方が悪性、悪性疑いの判定となり、99人の方には手術が行われました。悪性、悪性疑いの方全てがすぐに手術を受けるのではなく、個別の状態に合わせて医師、ご本人、ご家族の方のご説明、ご相談を経て対応を決めていきます。

本資料への収録日：平成28年3月31日